

時間割コード	Q6200900	開講年度	2026		
授業題目	生涯学習概論【第6欄】				担当教員 荒井 英治郎
英文授業名	Introduction to Lifelong Learning				
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室		授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当	備考			
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	本授業のテーマは、人間形成における教育・学習の機能について理解を深めながら、生涯学習社会における学びのあり方を構想することである。特に、社会教育と生涯学習に関する諸論点（思想、歴史、法制度、行政、施設、スタッフ、政策動向、居場所づくりなど）に関する基礎的知識を習得し、生涯学習社会における学びを実践する能力とともに、他者の学びを支援するために必要な条件を具体的に提示することを到達目標とする。 本授業では、生涯学習に関する様々なテーマ（生涯学習の理念と思想、生涯にわたる人間形成、生涯学習政策、生涯学習の多様な学習方法など）の基礎的理解を通じて、生涯学習社会における学びを効果的に実践していくことを支援することができる能力を習得する機会を提供する。 なお、本授業は、「オンデマンドコンテンツ」によるe-learning授業の形態をとる。				
(5)授業のキーワード	生涯学習、社会教育				
(6)授業計画	本授業は、「オンデマンドコンテンツ」によるe-learning授業の形態をとる。 第1回：生涯学習の理念 第2回：生涯にわたる人間形成 第3回：生涯学習を支える思想 第4回：行政による生涯学習の振興 第5回：民間団体・機関による生涯学習支援 第6回：生涯学習支援に関わる人的支援と物的支援 第7回：世界の教育改革動向 第8回：現代社会と学びの変化 第9回：学校教育とキャリア教育 第10回：夜間学級の取り組み 第11回：生涯学習の多様な学習方法 第12回：ワークライフデザイン 第13回：プレゼンテーション入門 第14回：セルフコントロール入門 第15回：生涯学習の現代的課題 授業の最後にアンケート実施 15分間				
(7)成績評価の方法	コンテンツごとに提出してもらった「リフレクションペーパー」や「レポート」（5割）などから総合的に評価します。				
(8)成績評価の基準	生涯学習社会の理念を概括することができるか、生涯学習の各種取り組みの特徴を概括することができるか、生涯学習の実践に関する自身の見解と展望を論じることができるか。 から のうち、全て満たしていたら「卓越している」ないし「かなり上にある」、から のうち2項目を満たしていれば「やや上にある」、1項目を満たしていれば「水準にある」。				
(9)事前事後学習の内容	授業はオンデマンド方式で展開しますので、「授業関連資料」を参照しながら、「授業関連動画」を順次視聴し、毎回リアクションペーパーを提出するようにして下さい。自分なりのペースで構いませんが、一定のペースで視聴されることをお勧めします。 60時間以上の時間外学習が必要となります。				
(10)履修上の注意	授業は、「オンデマンド方式」で展開します。 「オリエンテーション資料」をお読みいただき、履修するかどうかの判断をして下さい。 授業はオンデマンド方式で展開しますので、「授業関連資料」を参照しながら、「授業関連動画」を順次視聴し、毎回リアクションペーパーを提出するようにして下さい。自分なりのペースで構いませんが、一定のペースで視聴されることをお勧めします。 「最終レポート」に関しては、後日eALPS上にアップしますので、各自確認して下さい。 何かご不明な点があれば、講義担当者で教職支援センターの荒井（earai@shinshu-u.ac.jp）までご連絡ください。				
(11)質問、相談への対応	メールアドレスにて随時質問を受け付けるものとする。				
(12)授業への出席	全15回の授業に出席することを基本とする。6回以上の欠席は「不可」とする。				

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により受講が難しい場合は、共通教育履修案内に記載されている方法により補充を受けるための申請を行うようにしてください。
【教科書】	特になし
【参考書】	授業時に紹介する